

## コメディカルスタッフや学校保健担当者が 知っておくべき食物アレルギー対応

私たちアレルギーセンターでは、食物アレルギーの誤食などの事例を収集・解析して場面毎の注意点をまとめた「食物アレルギーひやりはっと事例集 2013」を発刊しました。食物アレルギーの誤食は、家庭(42%)について、保育園・幼稚園(21%)、レストラン(9%)、祖父母(5%)、友達の家(3%)、店頭販売(2%)、小学校(2%)、ホテル(1%)、スーパーでの試食(1%)、キャンプ(1%)と続きます。食物アレルギーの誤食は、食物アレルギーの発症頻度が高い年齢層の「小児」と「食事の提供がある」ことの2つが揃う場面です。子どもと食事に関与する職場で働くスタッフにとって食物アレルギー対応は避けて通れない課題といえます。



本講演では食物アレルギー事例を提示して、コメディカルスタッフや学校保健担当者が知らなければならない食物アレルギー患者の安全管理について解説します。

講師：藤田保健衛生大学医学部 坂文種報徳會病院 小児科教授  
同病院 アレルギーセンター長 宇理須 厚雄 先生

日時：平成25年6月14日(金) 17:00 ~ 18:30

会場：愛知学院大学(日進キャンパス) 7号館 7203 教室

対象：愛知学院大学教職員、学生  
一般の方の御来聴を歓迎します

問合せ：愛知学院大学心身科学部 市原(TEL 0561-73-1111) HP: <http://www.agu.ac.jp/>

会場案内：地下鉄「藤が丘」から名鉄バス「愛知学院大学前」行きに乗り換え終点で下車。駐車場もあります。会場は16時45分に開場します。

